

奈良県の一体的実施 (奈良県地域就職支援センター)

平成24年4月2日事業開始

奈良労働会館内の奈良しごとiセンターに併設して「地域就職支援センター」を設置し、ハローワークによる職業相談・職業紹介と、県の実施する一般就業相談、内職相談・あっせんに関する情報提供等を実施

県

キャリア・コンサルティング
一般就業相談
内職相談・あっせん等

① 事業内容

- ・キャリア・コンサルティングによる就労支援
- ・一般就業相談、内職相談・あっせんによる支援
- ・求職者に対する職業紹介・職業相談

② 協定・事業計画

- ・奈良県知事と奈良労働局長の間で協定を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を奈良県と奈良労働局の間で策定

③ 運営協議会

- ・奈良県職員、奈良労働局職員、ハローワーク奈良職員をメンバーとする運営協議会を設置



国

職業紹介・職業相談の実施等

奈良労働会館に「地域就職支援センター」を設置し、ハローワークの職業紹介業務を一体的に実施することにより、広範囲の就労支援を実現。

(1) 実施体制

県

- ・一体的実施事業に従事する職員 5名

国

- ・職業相談員4名を配置
- ・就職支援ナビゲーター 1名を配置
- ・求人情報提供端末8台、職業紹介端末5台を配置

(2) 事業目標と取組状況(25年度)

	事業目標	取組状況(平成25年度)
就労支援	◇奈良しごとiセンターによるキャリアコンサルティング 200件以上	206件
相談・就職	◇奈良しごとiセンターによる内職相談 1,500件以上	1,389件
	◇職業相談員による職業相談件数 3,000件以上	4,558件
	◇職業相談員による紹介就職件数 500件以上	470件

一体的実施事業による就職成功例

女性：20代 希望職種：経理事務
直近の状況：非正規労働（自己都合による離職）

① 抱える問題

- 簿記2級資格を生かし、経理事務、一般事務職を希望。
平成20年以降 就職活動継続中。

自己分析や振り返りを通じて、希望職種の適性を整理する必要がある。

② 支援内容・ポイント・経過

- ジョブカフェにおいて、過去の職業経験を振り返りながら、適職・希望職種を整理するための支援をおこなった。
- 支援センターにて自己分析と求職活動の振り返りを行う。
- 希望職種を絞り込むまでの間、短期間の仕事ではあるが、いろいろな仕事の経験をすることにより、新たな適職の可能性が広がった。
また、その間に応募書類、面接等のアドバイスをするなど、自己アピールのためのスキルアップを図った。
- その就業期間中に、常用求人「軽作業兼事務職」の求人情報の提供を継続的におこなった。

③ 結果 ※支援期間 延べ2年（直近約1ヶ月）
軽作業兼事務 で 常用パート社員に採用

- 軽作業兼事務
- 一日7時間 週35時間労働

男性：20代 希望職種：未定
直近の状況：非正規労働（期間限定 アルバイト）

① 抱える問題

- 法人向けの営業職を離職。
その後、パート職（期間限定のアルバイト）に従事。
- 仕事に達成感はあるものの、やりがいを感じられなくなり、離職を決意。
- 営業職を希望。

初めての転職であることを配慮する必要がある。

② 支援内容・ポイント・経過

- ジョブカフェにおいて、現状・仕事の軸・希望職種の整理を実施。就職に向けて自己のアピールポイントを掘り下げ、書類、面接の落とし込みへの支援をおこなった。
- ジョブカフェから支援センター窓口に誘導。
- 効率的な就職活動をして頂く為に、ハローワークサービスメニューを案内。
- 求人企業の求める人材・採用の視線や基準について、資料をもとに解説を行った。
- 応募書類の記入方法、面接のポイントをアドバイスし、お礼状の必要性についても説明をした。
若年者トライアル雇用制度の説明を行い制度を活用して紹介。

③ 結果 ※支援期間 10日
金属部品販売・営業 で 正社員に採用

- 金属加工品の営業
- 一日8時間 週40時間労働